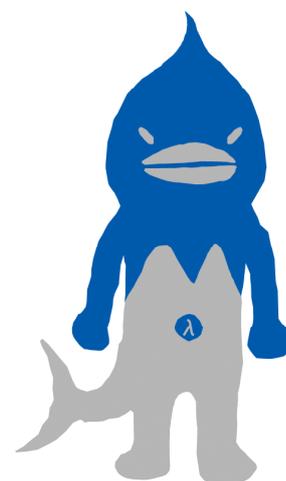


## Ⅱ 今年度の活動事例

# 津軽海峡交流圏形成に向けた、 活動の数々。

津軽海峡交流圏の形成に向けた  
λ（ラムダ）プロジェクトに関する  
今年度の活動事例を紹介します。



文中の〔提案番号〕欄には、関連があると考えられる過去の提案番号を記載しています。

- 今年度の活動事例（青森県津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議）  
.....39 ページ～48 ページ
- 今年度の活動事例（企業・団体等） .....49 ページ
- 今年度の活動事例（行政） .....50 ページ～56 ページ

## ■青森県津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議

### <委員>

○**New!!** マグ女が平成28年7月1日～7月10日「マグ女のセイカン♡博覧会」青函DCスペシャルの先行開催。

平成28年10月1日～11月15日、DC終了後の閑散期を盛り上げるため、津軽海峡マグロ女子会セイカン博覧会」を開催。（島康子委員、高木まゆみ委員、三津谷あゆみ委員）【(1)津軽海峡1(27年度)】

## 津軽海峡マグロ女子会セイカン博覧会 開催について

【開催目的】 マグ女ならではの「わがまち自慢プログラム」展開  
& 津軽海峡回遊観光圏づくり

### 【企画概要(案)】

◇キャンペーン名(仮)

「海をつなぐ 寄り道旅 ～ 津軽海峡マグロ女子会のセイカン♡博覧会」  
略して「マグ女のセイカン♡博 (感じる旅)」

◇概要

マグ女一人ひとりが**パビリオン**となり、マグ女がプロデュースした地元を楽しむための多彩なプログラムを同時多発的に展開し、津軽海峡エリアを面として発信。訪れてくれたお客さまに、エリアを回遊していただく。

◇実施期間

2016年10月1日～11月15日 (DC終了後。閑散期を盛り上げる)

◇実施内容

- ・マグ女によるプログラムを35種類実施
- ・複数のプログラムに参加するツアーを実施  
(・マグ女主催の津軽海峡圏パーティの主催)

※プレ企画:7月1日～7月10日に「青函DCスペシャル」を実施

### マグ女のミッション

- ◆連携「人をつなげて、道をつくる」
- ◆発信「地元の人から学び、足元に光を当てる」
- ◆創造「津軽海峡圏の元気づくりのけん引役となる」



★マグ女一人ひとりがパビリオン  
海峡圏を回遊していただきましょう

◎セイカン♡博事務局:0138-86-7602

◎セイカン♡博ホームページ: <http://magujiyo.link/>



「津軽こぎん刺しでフレーム作り & 地元の食を味わうランチ」コース



のん べいマグ女と歩く夕暮れどきの  
金木駅前「ほろ酔い散歩」コース

○**New!!**青函の味「駅弁」召し上がれ マグロ女子会が開発／平成 28 年 6 月 27 日（島康子委員、高木まゆみ委員、三津谷あゆみ委員）【(1)津軽海峡 1(27 年度)】

7 月 1 日の青函 DC のタイミングで「懐かしの 津軽海峡にぐ・さがな弁当」を発表した。発売を開始。津軽海峡圏のさらなるにぎわい創出を目的に、青函連絡船が海を渡っていた時代をイメージした「懐かしさ」を感じる駅弁をコンセプトとしました。現在は新函館北斗、青森、新青森、八戸、盛岡、仙台、大宮、東京の各駅と一部の北海道新幹線車内で販売中。



○**New!!** 津軽海峡でつながる 文化・芸能交流（北海道江差町と青森県佐井村）／平成 26 年 3 月～（高木まゆみ委員）[提案番号 (1)津軽海峡 2(27 年度)]

北海道道南地域との交流圏形成や連携・協力体制の強化を図り、これらの地域をつなぐ観光ルートを構築するため、観光事業者・関係者を招きモニターツアーを実施。佐井村と北海道江差町との交流が活発となり、平成 27 年、福浦歌舞伎春の特別上演会で江差町の郷土芸能を同舞台で披露。平成 28 年は函館市において、佐井村漁村歌舞伎の写真展と歌舞伎の実演を披露して、歌舞伎鑑賞ツアーの PR を行いました。



○**New!!** 北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業記念 第一回奥津軽周遊ライド／平成 28 年  
7 月（高木まゆみ委員）

今年の 3 月に奥津軽周遊ライド実行委員会を結成し 7 月 18 日「奥津軽周遊ライド」を実施。県内外から 80 名の参加者をむかえ奥津軽いまべつ駅発着のサイクリングイベントを開催しました。



○**New!!** 津軽半島自然体験コーディネーター育成塾／平成 28 年 6 月～12 月（木谷敏雄委員）

[提案番号 (2)奥津軽 2(27 年度)、4(26 年度)、6(26 年度)]

青森県自然保護課では、昨年実施した「下北自然体験コーディネーター育成塾」に引き続き、津軽国定公園の今別地区をメインフィールドとして、地域の自然資源の魅力や価値を洗い出し、保全方法や活用方策を学び、これらを伝えることのできる担い手を育成する「津軽半島自然体験コーディネーター育成塾」を開講。

今別町の地域自然資源を活用した自然体験プログラム開発をテーマに、津軽国定公園を活用した持続可能な地域づくりを担う中核人材を育成していきます。

その中核人材とは、その地域の魅力ある自然資源を楽しみながら学ぶことのできる自然体験プログラムの開発・実践を通じて、地域住民の方々にこれら自然資源の素晴らしさを伝えることのできる企画調整役となる人材としています。

6月から10月まで、5回のワークショップを行い、10月には出来上がったプログラムを実践するモニター体験イベントも開催していきます。



○**New!!** 中国向けメディアの取材コーディネート・アテンド「明日どこ行くの？ねぶた祭り編」  
／平成27年8月～（後藤清安委員）

昨年（2015年8月）のねぶた祭り6日の夜間運行、7日昼運行、海上運行と花火をメインとした取材をコーディネート。

中国人スタッフによる外国人目線で制作されている番組「明日どこ行くの？」（MX テレビで毎週土曜23時～放送中）は、毎回違うゲストが日本を旅して様々な体験を率直に伝えていく内容。

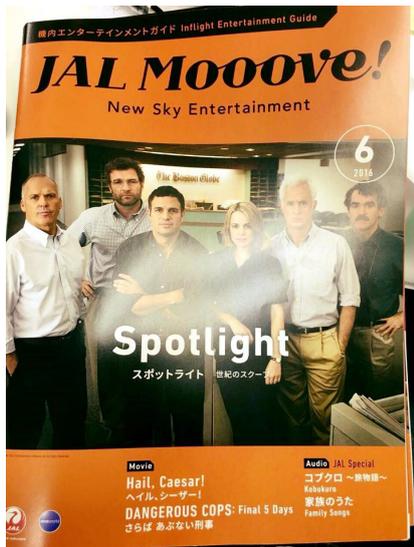
2015年9月に放送された青森編では、中国大連から来た若者二人と関東に住む日本人の友人二人計4人の男性達が初めての青森旅行を体験する内容。  
跳ね人、曳き手の体験、海上運行と花火の見物など青森ねぶた祭りを堪能してもらいました。

出演者の中国人男性は撮影の合間に中国で人気のSNS（WeChat）でも個人的に投稿してくれていました。（写真参照）

また、この番組は東京メトロポリタンテレビで放送されただけでなく、中国国内の地上波テレビ大連テレビや上海テレビなどでも再編集して放送された他、中国で人気のSNS 動画サイトなどでも配信されており、約400万アクセスを獲得しているそうです。

さらに、現在（2016年6月1日～7月31日）JAL国際線全便で放送されているコンテンツにこの番組のねぶたの回が選ばれました。（写真参照）

中国メディアとのこのような連携を、誘客や販売の戦略とともに企画できるとより成果が得られると考えています。



<JAL 機内誌>



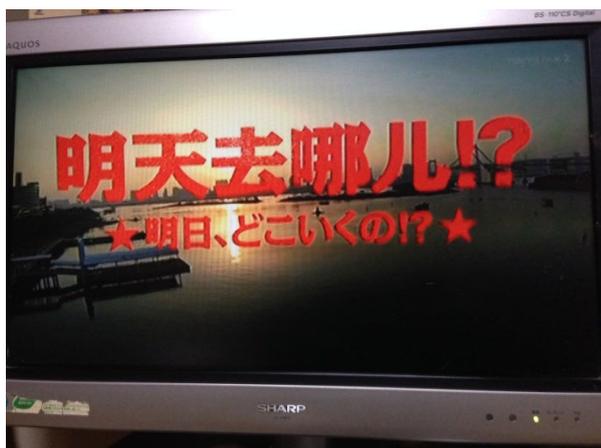
<ねぶた祭り・のつけ井 撮影風景>



舌尖上的日本海鮮生吃

今天参加与拍摄“青森的睡魔祭”此节寓意：驱走夏天妨碍劳动的睡魔，且寓意祈求五谷丰登、合家平安。据说此节也是由中国的七夕演变而来的。

<上記の写真は出演者が自身の WeChat（中国 SNS）にアップしたもの>



<東京メトロポリタンテレビ（MX テレビ）の OA>

## ■青森県津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議

### <チーム>

○**New!!**「ラムダ Cafe」オープン／平成 28 年 7 月 1 日～

ラムダ作戦会議の交流圏創造チーム会議で生まれたアイデアの一つが「ラムダ Cafe」。北海道新幹線が開業して、さらに注目が集まる青森県と道南地域。「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」を盛り上げるため、7 月 1 日から 9 月 30 日までの限定でオープン。

#### (1) 「ラムダ Cafe」の掟

- 青森県と道南地域の架け橋となる交流の場を提供している
- 座るスペースがあり、飲み物の提供ができる（有料、無料問わず）
- 地元の旬な情報提供ができる
- 地元の自慢話ができる
- マギユロウが店長として働くことができる広さがある



#### (2) マギユロウ店長の訪問スケジュール

「ラムダ Cafe」は新たなお店ではありません。プロジェクト名の「ラムダ」は、新函館北斗駅から新青森駅を通過して八戸駅への新幹線ルートと、新青森駅から弘前駅への奥羽本線のルートの形が、ギリシャ文字のλ（ラムダ）に見立てられることに由来しています。

ラムダ作戦会議委員等の推薦による店舗にマギユロウが店長として訪れ、青森県と道南地域の架け橋として津軽海峡交流圏形成に向けて協力していただける店舗を応援します。7 月 1 日は八戸市の 3 店舗、7 月 9 日に道南 1 号店、その後も県内及び道南で順次オープン予定。

○7 月 1 日（金）11:30～13:30/7 月 6 日（水）14:00～15:00

「海カフェ たねさし」（八戸市大字鮫町字棚久保 14-167 種差海岸インフォメーションセンター）

○7 月 1 日（金）14:30～15:00

（有）マルナカ福田商店（八戸市大字鮫町字鮫 95-4）

○7 月 1 日（金）16:00～17:00

「街カフェ みなと」（八戸市三日町 13 番地 4-5）

○7 月 9 日（土）19:00～20:00（弘前バル街出張企画：土手町コミュニティパーク内）

「江差・皐月蔵チャミセ」（所在地：北海道檜山郡江差町姥神町 18-1）

※マギユロウの来店スケジュールは、県庁HP『マギユロウの部屋』でお知らせします。

[http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/traffic/magyurou\\_katsudou.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/traffic/magyurou_katsudou.html)

#### (3) 青函DC期間中の「ラムダ Cafe」キャンペーン

「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」期間中は、「ラムダ Cafe」オープンを記念して、素敵な企画を用意します。

○「ラムダメニュー」を注文した方には、マギユロウグッズをプレゼント！

※マギユロウ店長が訪れた時に、その店舗でオススメの 1 品を「ラムダメニュー」とし

て提供してもらいます。「ラムダメニュー」は各店舗によって、その日によって違います。

○マギユロウ店長と一緒にクイズやゲームで遊ぶことができます。



○**New!!**「新幹線に乗っちゃって！」青函DC盛り上げバージョン動画の公開／平成28年7月1日～

ラムダ作戦会議の交流圏イメージづくりチームが、「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」を盛り上げるために手作りで進めてきた「新幹線に乗っちゃって！」の動画制作企画。ネット上などで拡散をはかりながら、参加型の盛り上げりのムーブメントをつくっていくことを目的とし、今回はその第1弾を公開。

#### (1) 動画の概要

○函館市の市民バンドがつくった北海道新幹線の応援ソング「新幹線に乗っちゃって！」に、農業活性化アイドルとして弘前を拠点に活動するダンス&ボーカルユニット「りんご娘」が振付をするという青函コラボは、津軽海峡交流圏形成の弾みとなるもの。

○テーマは、「λ（ラムダ）プロジェクトシンボルキャラクター『マギユロウ』が青森・道南周遊の旅へ出る」。テンポのよいリズムに合わせ、ラムダ委員や地元の方々と一緒に『マギユロウ』も「りんご娘」の振付に挑戦。

#### (2) 北海道新幹線応援ソング「新幹線に乗っちゃって！」の曲と振付について

○函館の市民バンド「木下さんと『愛と哀（かな）しみの黒汁（くろじる）楽団』」が演奏。子どもから大人まで幅広い年代の人に親しみやすく、新幹線に乗りたくなるような曲。

○青森県津軽地方を中心に活動するご当地アイドル「りんご娘」がこの応援ソングにオリジナルの振付を考案し、Youtubeで振付動画を公開中。右手側が「青森県」、左手側は「北海道」など、動き全てに意味を持たせているのが特徴。

Youtube『新幹線に乗っちゃって！』振付動画

URL : [https://www.youtube.com/watch?v=168a\\_fUQfR8](https://www.youtube.com/watch?v=168a_fUQfR8)

### (3) 動画の公開

YouTube「新幹線に乗っちゃって！青函DC盛り上げバージョン」にて、7月1日（金）より公開。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=sCd2VJr3Tj4&feature=youtu.be>

※動画公開キャンペーン企画として、次のイベント内でスクリーン配信やステージ公開を実施。

○7月2日（土）10:00～14:00 青函DCのオープニングに伴うお出迎えイベント。奥津軽いまべつ駅隣り道の駅いまべつ半島ぷらざ「アスクール」等でのスクリーン配信。

○7月9日（土）17:00～21:00 弘前バル街。ステージイベントや会場内のスクリーン配信。

○7月15日（金）19:00～19:45 青森安潟みなとまつり2016のステージ。函館の市民バンド「木下さんと『愛と哀しみの黒汁楽団』」のステージ上でマギユロウとラムダ委員とのコラボ演奏。

### (4) 撮影場所と協力者

	歌詞	撮影場所	撮影協力者(ラムダ委員以外)
1	イントロ B-1	○JR新青森駅	・北海道新幹線H5系 ・東青地域県民局の皆さん
2	イントロ B-2	○八戸市営魚菜小売市場	・イサバの Каттяたち
3	距離なんて関係ないのさ 愛があればなんだって	○JR七戸十和田駅 ○南部縦貫鉄道旧七戸駅	・七戸はやぶさPR隊の皆さん ・横丁探偵 ニセダさん
4	あの時感じたあの空を あのとき感じたあの風を	○奥入瀬溪流 ○AoMoLink～赤坂～あおもり地域ビジネス交流センター	
5	トンネル抜けたら 確かめにいくのさ	○青森県庁(知事室)	・三村知事
6	こころの扉オープン 叫べ開けゴマ!	○青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 ○JR新青森駅	・青森アフロシスターズ ・東青地域県民局の皆さん
7	新幹線にのっちゃって スタンバイ愛の導火線	○JR奥津軽いまべつ駅	・津軽半島自然体験コーディネーター育成塾生の皆さん
8	やっと来たぜ この街 夢と君の待つ ノスタルジックシティ	○道の駅みそぎの郷きこない	・道の駅みそぎの郷きこない観光コンシェルジュ津山さん、木古内町公式キャラクター「キーコ」
9	最前線の放物線 フライハイ飛んで大平原	○JR新函館北斗駅 ○五稜郭公園	・北斗市公式キャラクター「ずーしーほっきー」、北海道新幹線開業PRキャラクター「どこでもユキちゃん」 ・函館ご当地キャラクター「イカール星人」 ・「木下さんと『愛と哀(かな)しみの黒汁楽団』」の木下さん
10	緑の風 一緒に絶対気付くはずさ 僕と最高だって	○津軽海峡フェリー大間フェリーターミナル	青い森信用金庫大間支店の皆さん、大間町イメージキャラクター「かもまーる」
11	エンディングー1	○弘前路地裏	・弘前路地裏探偵団の皆さん
12	エンディングー2	○弘前市りんご園	・りんご娘(ジョナゴールド、とき、王林、彩香)

○津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議  
 <委員> 島康子、町田直子、木村聡、山内史子、後藤清安、三津谷あゆみ、高木まゆみ、木谷敏雄、森樹男、坂本崇、樋川由佳子  
 <アドバイザー> 大西達也



## ■企業・団体等

### ○**New!!** 青森県内と道南地域の酒造所を巡るスタンプラリーの開催／平成 28 年 4 月

[提案番号 (1)津軽海峡 5(27 年度)]

県内、道南の両地域で日本酒やビール、ワインなどを製造する 27 酒造所の協力により、北海道新幹線開業を記念し、地元で造られる酒の消費拡大、交流人口拡大、地域活性化をめざす。(みちのく銀行、北海道銀行、JTB 北海道、JTB 東北)

### ○**New!!** 青函企業によるビジネス交流会の開催／平成 28 年 4 月

[提案番号 (1)津軽海峡 14(26 年度)]

「第 6 回パートナーシップ構築懇談会」に青函の企業約 40 社が参加し、企業連携に向けた事業構想の説明を行うとともに、個別商談などを行った。(青森商工会議所、函館商工会議所)

### ○**New!!** 函館市と弘前市の友好の酒「巴桜」の誕生／平成 28 年 4 月

[提案番号 (1)津軽海峡 14(26 年度)]

北海道新幹線の開業に合わせて企画した友好の酒づくり企画。函館の農家が育てた酒米を使い、弘前市の六花酒造が仕込んだ日本酒が完成し、6 月から青森県内や道南で販売された。(函館の農家、六花酒造)

### ○**New!!** 弘前大学が道南の高校生対象の進学相談会を開催／平成 28 年 5 月

[提案番号 (1)津軽海峡 4(27 年度)]

北海道新幹線開業に合わせて企画したもので、道南の高校生や保護者など約 170 名が参加した。(弘前大学)

### ○**New!!** 多摩信用金庫企画の「北海道新幹線に乗るツアー」に青い森信用金庫大間支店が協力／平成 28 年 5 月～ [提案番号 (4)青森県らしさ 1(27 年度)]

多摩信用金庫のツアーで 5 月～7 月にかけて約千人が青森県に訪れ、大間港から大函丸で函館へ向かう一行に青い森信用金庫大間支店の職員などが旗振りを行う。(多摩信用金庫(東京都)、青い森信用金庫大間支店)

## ■行政

### <国>

- New!!** 青函の観光面での連携を図るために「青函圏連携会議」を開催／平成28年4月

北海道新幹線開業を受け、観光面での青函圏活性化の連携を進めるための初会合が函館市内で開催された。（北海道開発局、東北地方整備局）

- New!!** 青函地域活性化の課題を探る「青函地域経済活性化フォーラム」の開催／平成28年5月

青森県と北海道の両財務局の青函地域の自治体、経済団体、金融機関の関係者等を対象としたフォーラムを開催し、青函地域活性化の課題について情報を共有した。（東北財務局、北海道財務局）

### <県>

- New!!** あおもりキャンパスLIFE魅力再発見推進事業（総務部）／平成28年度

[提案番号 (1)津軽海峡23(25年度)]

県内大学等と連携した合同進学相談会（県内及び道南地域で開催）の開催や情報誌の作成を通じ、県内外の生徒に対して青森県の学生生活の魅力を発信する。

- New!!** 世界に向けた「青森ブランド」発信事業（企画政策部）／平成28年度

[提案番号 (4)青森県らしさ25(25年度)]

県民から「青森ブランド」の好事例を募集するアイデアコンテストを開催し、青森ブランド確立に向けた気運醸成を図るほか、ウェブサイト等を活用した県内外への戦略的な情報発信を行う。

- New!!** 航路でつながる津軽海峡交流圏周遊促進事業（企画政策部）／平成28年度

[提案番号 (1)津軽海峡20(25年度)]

本県及び道南の既存のフリーパス等利用者を対象に、各エリアを結ぶ航路の旅客運賃を割り引く社会実証実験を実施し、航路を利用した広域周遊の定着及び公共交通の利用促進を図る。

- New!!** 奥津軽いまべつ駅二次交通運行・利用促進事業（企画政策部）／平成28年度

[提案番号 (4)青森県らしさ20(25年度)]

北海道新幹線の開業効果を獲得するため、奥津軽いまべつ駅からの二次交通を実証運行するとともに、利用促進PRを実施する。また、青函共用走行問題の解決に向けた協議会を開催する。

○**New!!** つながる県民もっと拡大事業（企画政策部）／平成 28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 4(26 年度)]

首都圏に住む本県ゆかりの方と県民のつながりを深め、県民の郷土愛を醸成するとともに、県外出身者が青森ファンになるためのきっかけを提供し、交流人口の増加や地域資源を生かした生業づくりにつなげる。

○**New!!** JOMON ムーブメント拡大推進事業（企画政策部）／平成 28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 25(25 年度)]

縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた更なる気運の醸成を図るため、メディア等を活用した県内外でのプロモーション活動を行うほか、遺跡見学者の受入環境の充実を図る取組を実施する。

○**New!!** 白神山地「選ばれる世界遺産」プロジェクト事業（環境生活部）／平成 28 年度

[提案番号 (2) 奥津軽 1(27 年度)]

白神山地の多様な価値を見つめ直し、暮らしや産業との関係性を再構築していく「白神イニシアティブ」の更なる推進に取り組み、地域の自立的発展と活性化に資する。

ア 体験プログラムの更なる充実と情報発信・推進体制の強化

イ 白神の資源の活用による暮らしと産業の創造

ウ 白神を識る次世代育成

○**New!!** 青函エリア食のプロモーション推進事業（農林水産部）／平成 28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 15(25 年度)]

平成28年3月の北海道新幹線開業及びその直後に行われる青函DCの効果を十分に発揮できるよう、青函エリアの枠組みを生かした食に係るプロモーションを展開する。また、「青森の正直」商談会を開催し、青函エリア内での食に係る取組を支援する。

○**New!!** 青森県・道南地域周遊型誘客促進事業（観光国際戦略局）／平成 28 年度

青函エリアを1つの旅行エリアとして全国に認知させるため、北海道、東北、首都圏等で青函エリアならではの魅力や周遊型観光のプロモーションを実施し、北海道新幹線で函館を訪れる観光客に周遊を促し、青函エリアの認知度向上と誘客促進を図る。

○**New!!** 東アジア・東南アジア向け青函情報発信事業（観光国際戦略局）／平成 28 年度

韓国、台湾、香港、中国及び日本国内の主要な場所で配付されている繁体字、韓国語、英語を同時に表記している無料雑誌の記者を招聘し、青森県、函館市を周遊する観光ルートや飲食店、ショッピング等の魅力を海外に発信する。

○**New!!** 観光マインドアップ情報発信推進事業（観光国際戦略局）／平成 28 年度

北海道新幹線開業の効果を最大限に獲得し、継続した誘客促進に繋げるため、県民のホスピタリティの向上に向けて、県民へのおもてなし活動を促すための情報発信を実施する。

○**New!!** 観光おもてなし・サービス向上事業（観光国際戦略局）／平成 28 年度

北海道新幹線開業効果の獲得に向けて、県民による「おもてなし」の定着・拡大を図るとともに、本県の観光サービスの課題を洗い出し、サービス向上を図り、観光客の満足度向上や観光産業の基盤強化につなげる。

○**New!!** 東青・道南地域連携型観光推進事業（東青地域県民局）／平成 28 年度

[提案番号 (1) 津軽海峡 1(27 年度)]

北海道新幹線開業効果を最大限に獲得していくため、東青・道南地域の民間団体が連携して行う多様な自主イベントの開催を支援するほか、旅行・旅客・雑誌業者等への売り込み、既存イベントでのブース設置やパンフ配布など、各種PRを行う。

○**New!!** 北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業効果獲得事業（東青地域県民局）／平成 28 年度

北海道新幹線開業と「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」の実施に合わせ、観光キャラバンなど首都圏等でのPRや開業1周年記念イベントを重点的・集中的に実施する。

○**New!!** 東青地域果樹の楽園づくり推進事業（東青地域県民局）／平成 28 年度

果樹産地としての知名度を向上させ、継続的に観光客を呼び込むため、果樹観光に意欲的な農家のノウハウ取得を支援して受入体制の充実を図る。

○**New!!** 中南地域着地型観光魅力発信事業（中南地域県民局）／平成 28 年度

中南地域の豊かな自然の魅力を活かしたツーリズムの提案を実施する他、「街歩き」を中南地域全体の観光コンテンツとして確立するための取組を実施する。

○**New!!** 三八地域がちり稼ぐ広域観光事業（三八地域県民局）／平成 28 年度

三八地域の周辺ビッグコンテンツと連携した広域観光の推進及び滞在時間増加に向け、宿泊の動機づけにつながる旅行商品を検討する。

- ①テーマ性のある地域「間」連携型モデルルートの構築・検証
- ②三八地域観光の滞在型化推進

○**New!!** 津軽半島北部エリア誘客促進事業（西北地域県民局）／平成 28 年度

奥津軽いまべつ駅に隣接する津軽半島北部エリア（五所川原市、中泊町）を中心として、誘客に向けた露出強化や旅行商品造成を促す取組を実施する。

○**New!!** 上北アクティビティ・ブラッシュアップ事業（上北地域県民局）／平成 28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 5(26 年度)]

上北管内の十和田湖、小川原湖でのカヌー・カヤックやサイクリング、ランニングといったアクティビティをメインに取り入れた旅商品の開発を検討する。

○**New!!** 台湾を主軸とした下北インバウンド促進事業（下北地域県民局）／平成 28 年度

函館経由で来日する台湾人観光客等を大間航路で下北へ誘客するなど、観光による地域振興を図るため、台湾国内での下北地域の知名度向上に向けた情報発信を行うとともに、外国人観光客に対応可能なガイド養成など誘客受入体制の環境整備を行う。

○λ（ラムダ）プロジェクト加速化事業（企画政策部）／平成 27・28 年度

[提案番号 (1) 津軽海峡 8(26 年度)]

津軽海峡交流圏形成のエンジン役となる「津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議」の運営や北海道庁との連絡調整、「マギョロウ」を活用した情報発信等を行うことにより、北海道新幹線開業を契機に本県と北海道との連携を強化するとともに、津軽海峡交流圏の認知度向上を図る。

○青い森鉄道が運ぶ沿線魅力戦略事業（企画政策部）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 17(25 年度)]

平成27年度末の北海道新幹線開業による環境変化に対応するため、青い森鉄道の強みである長い路線を生かし、地域住民、県外からの観光客、将来を担う子どもたち等、様々なターゲットに対応した乗車のきっかけづくりや地域が主体となって利活用に取り組むきっかけづくりを戦略的に行う。

○食品工場生産性改善普及事業（商工労働部）／平成 27・28 年度

北海道新幹線開業によるビジネスチャンスを生かすため、食品工場を対象とした工場診断を行い、県内食料品製造業の生産性改善による競争力向上を集中的に支援する。

○青森県特別保証融資制度貸付金「未来を変える挑戦資金」（商工労働部）／平成 27・28 年度

県の推進する戦略等に基づく重点推進分野に属する事業（観光客等の交流人口の増加に伴う経済効果の県内への波及に資する事業等）を含む前向きな取組を行う県内中小企業者に対し、長期かつ低利で資金調達を可能とする特別保証融資制度を実施。

○グリーン・ツーリズム新規需要創出事業（農林水産部）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 15(25 年度)]

グリーン・ツーリズム宿泊客の拡大に向け、国内では、北海道と首都圏等を重点地区とし、学校関係者や旅行エージェントの訪問によるプロモーション活動等を実施し、海外では、台湾とタイを重点地区としたプロモーション活動の他、新規開拓としてタイからの誘客に向けたプロモーション活動の方法等を検討する。

○青函圏サイクル・ツーリズム推進事業（観光国際戦略局）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 14(25 年度)]

本県の特色ある自然景観、食、温泉資源などの比較優位性を活かしたサイクル・ツーリズムを確立し、新たな観光客の獲得、周遊・滞在時間の延長による外貨獲得と地域経済の活性化を図る。

また、道南エリアとの連携した広域的な取組を展開し、お互いの魅力の相乗効果・相互補完により誘客と滞在時間の延長を推進する。

○青森県・函館デスティネーションキャンペーン推進事業（観光国際戦略局）／

平成 27・28 年度

北海道新幹線開業を誘客促進の起爆剤とし、その開業効果を最大限に獲得するため、J R グループ 6 社の協力のもと、平成 28 年夏に本県と北海道道南地域においてデスティネーションキャンペーンを展開する。

○青函広域観光連携事業（観光国際戦略局）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 15(25 年度)]

北海道新幹線開業効果を獲得するため、北海道渡島総合振興局と連携を図り、共同で本県及び道南エリア双方の観光資源を首都圏等において P R する。また、それぞれの地域において互いの情報発信をすることで、地域間交流の増加を図る。

○東南アジア誘客促進事業（観光国際戦略局）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 15(25 年度)]

東南アジアでの本県の観光地としての知名度・認知度向上を目指し、東北観光推進機構と連携した旅行博の出展や雑紙等での広告掲載を行うほか、東南アジアでの青森りんごの知名度を活かし、青森りんごフェアと観光とを同時に P R し誘客を促進する。

○次世代自動車活用促進事業（エネルギー総合対策局）／平成 27・28 年度

北海道新幹線開業で P R 効果が高い「奥津軽いまべつ駅」に P H V を 2 台導入して、特定域内での利活用を実証し、普及につなげる。

○東青地域アクティビティ推進事業（東青地域県民局）／平成 27・28 年度

[提案番号 (2) 奥津軽 6(26 年度)]

東青地域ならではの体験型観光の仕組み構築と、北海道新幹線開業効果の持続的な獲得に向け、サイクリング、トレッキング、フィッシングの 3 分野において、受入環境の整備と情報発信を行う。

○雪を逆手に冬を楽しむ中南観光推進事業（中南地域県民局）／平成 27・28 年度

[提案番号 (4) 青森県らしさ 32(25 年度)]

中南地域における冬のビッグコンテンツとして、日本初のスノーアートを制作するとともに冬や雪に特化した中南地域ならではの体験プログラムの造成や受入環境の整備を行い、これらを連動させることで、通年観光を確立し、地域全体の活性化を図る。

○三八地域ぐれっとめぐる広域観光事業（三八地域県民局）／平成 27・28 年度

個別に確立してきた三八地域の観光コンテンツ間の連携を進め、周遊して三八地域の魅力をとことん楽しむ新たな旅のスタイルを確立する。

①公共交通機関を活用したローカルハシゴ旅

②観光関係者向け広域観光講座

○西北地域「おもてなし力」パワーアップ事業（西北地域県民局）／平成 27・28 年度

北海道新幹線開業や青森県・函館DCに向けて、まち歩きガイドのスキルアップ、ネットワーク化を図るとともに、ガイドや有識者の視点から、観光客受入態勢（案内表示等）及び観光客のニーズに対応した情報提供方法等について検討する。

<道南>

○**New!!**北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森による青森県内教育施設等を活用した交流促進／平成 28 年 8 月

北海道新幹線の開業を契機に広域的な交流を促進するため、北海道内の小学 4～6 年生の参加希望者 29 名が、県立梵珠少年自然の家に 3 泊 4 日し、三内丸山遺跡、県立郷土館及びねぶた祭り見学等を実施する。

## <市町村>

○**New!!** 4市連携の観光キャンペーン「青函圏周遊博」の開催／平成28年4月～

[提案番号 (4)青森県らしさ31 (25年度)]

4市の食材を使ったオリジナル料理の食べ歩きや各市の店舗を使用できるクーポン発行のサービスを展開し、立体的な旅を提供する。(函館市、青森市、弘前市、八戸市)